

- Japanese -

EOS 50D

ファームウェア変更手順書

ファームウェア変更に関するご注意

- ファームウェアの変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり撮影できなくなります。
 - カメラの電源にはフル充電した専用バッテリーパック、または、専用 AC アダプターキットを使用してください。
 - ファームウェアの変更中は、絶対にカメラの電源スイッチを<OFF>にしないでください。家庭用電源を使用する場合は、停電に十分ご注意ください。
 - また、ファームウェア変更中は、カードスロットカバーを開けないでください。
- また、ファームウェア変更中は、ボタン、ダイヤル、スイッチなどの操作を行わないでください。

ファームウェア変更手順

- 以下の説明の中で、x.x.x は現在のファームウェアのバージョン名、あるいはこれから変更するファームウェアのバージョン名をあらわします。

(1) ファームウェアの変更に必要なものを準備します。

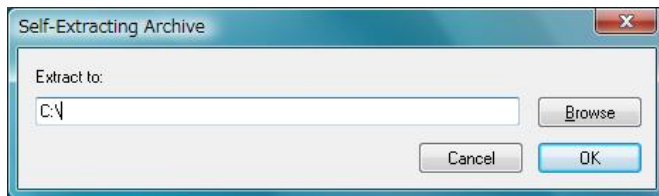
- ① カメラ本体
- ② 専用バッテリーパック（フル充電したもの）、または専用 AC アダプターキット（別売）
- ③ 初期化した CF カード（64 MB 以上、64GB 以下のもの）
- ④ ファームウェア変更用ファイル（ホームページからダウンロードします）

(2) ファームウェア変更ファイルを生成する。

- ① ホームページから、圧縮された自己解凍形式ファイルをダウンロードしてください。
- ② ダウンロードしたファイルを解凍し、ファームウェア変更ファイルを生成します。
 - ダウンロードしたファイルの解凍方法

Windows の場合

ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、下の画面が表示されます。
[OK] をクリックすると、ダウンロードしたファイルが解凍され、ファームウェア変更ファイルが生成されます。



Macintosh の場合

ダウンロードしたファイルは、自動的に解凍され、ファームウェア変更ファイルが生成されます。
自動的に解凍されない場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。

- ③ ファームウェア変更ファイルのファイル容量を確認します。
ファイル容量が相違する場合は、ファームウェア変更ファイルをダウンロードし直してください。
 - ファイル容量の確認方法

Windows の場合

ファームウェア変更ファイルのアイコンを右クリック、[プロパティ] を選択します。

Macintosh の場合

ファームウェア変更ファイルのアイコンを選択した後、[ファイル] メニューの [情報をみる] を選択します。

- ④ ファームウェア変更ファイルの名称、容量はホームページで確認できます。

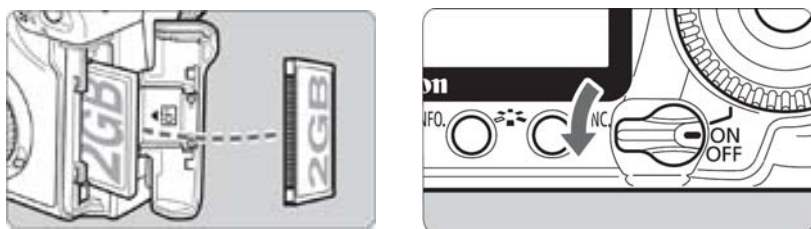
- CF カードリーダーをご利用の場合、(3)以降の手順を、CF カードリーダーをご利用にならない場合、(4-1)以降の手順を行います。

(3) ファームウェア変更ファイルをCFカードにコピーします。

- ① カメラであらかじめ初期化したCFカードを、カードリーダーに挿入します。
- ② ファームウェア変更ファイルを、CFカードを開いたすぐの場所（ルートディレクトリ上）にコピーします。
- ③ CFカードをカードリーダーから取り出します。

※ CFカードをカードリーダーから取り出す際は、パソコン、あるいはカードリーダーの取扱説明書に従って行ってください。
※ CFカードのフォルダ内にコピーすると、カメラがファームウェア変更ファイルを見つけられません。

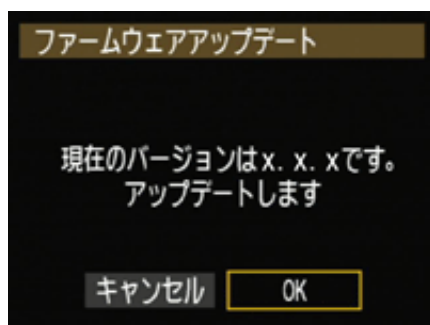
- ④ カメラのモードダイヤルを回転し、〈P〉モードなどの「応用撮影ゾーン」に設定します。
- ⑤ ファームウェア変更ファイルが入ったCFカードをカメラにセットします。
- ⑥ カメラの電源スイッチを〈ON〉にし、〈MENU〉ボタンを押してメニュー項目を表示します。



- ⑦ メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルを回して、「機能設定 3(黄)」の最後にある[ファームウェア Ver. x. x. x]を選び、〈SET〉ボタンを押します。



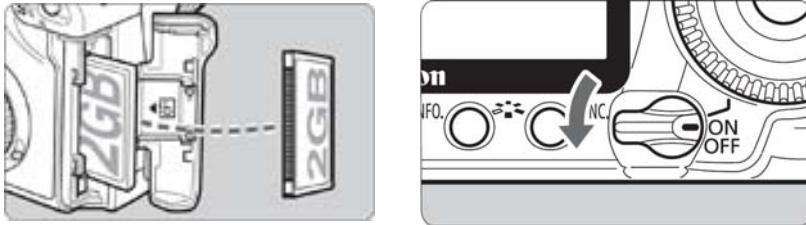
- ⑧ ファームウェアのアップデート画面が表示されます。
サブ電子ダイヤルを回して、[OK]を選択し、〈SET〉ボタンを押します。
手順(5)以降を行ってください。
*液晶モニターに、ファームウェアアップデートの画面が表示されない場合は、
CFカードにファームウェア変更ファイルが正常にコピーされていません。
もう一度 手順(1) からやり直してください。



➤ 手順(4-1)以降では EOS Utility を用いたアップデート方法を説明します。

(4-1) カメラとコンピューターを接続します。

- ① カメラのモードダイヤルを回転し、<P>モードなどの「応用撮影ゾーン」に設定します。
- ② カメラに、カメラであらかじめ初期化した CF カードを挿入します。
- ③ USBケーブルでカメラとコンピューターを接続し、カメラの電源スイッチを<ON>にしてください。



(4-2) ファームウェアの変更を開始します。

- ① お使いのコンピューターにインストールされている EOS Utility を起動します。
- ② EOS Utilityの画面で、[カメラの設定/リモート撮影] ボタンを押します。

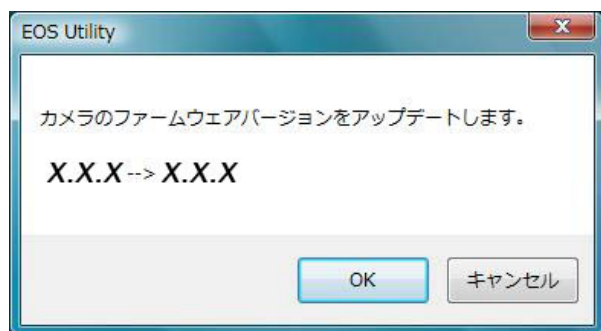


- ③ 画面内の[F] を押し、表示された画面の [ファームウェア Ver. x.x.x] を押します。
- ④ ファームウェアのアップデート画面が表示されますので、[OK]を押します。

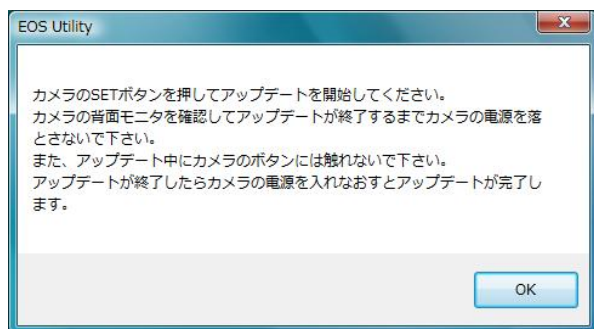


⑤ ファイルの選択画面が表示されますので、ファームウェア変更ファイルを選択し、[開く]を押します。

⑥ 確認画面が表示されますので、[OK]を押します。



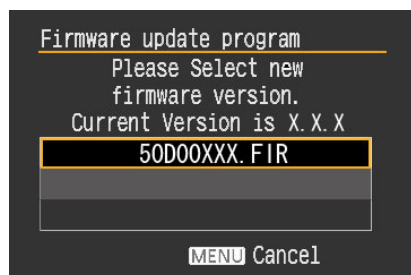
⑦ アップデート中の注意画面が表示されますので、[OK]を押します。



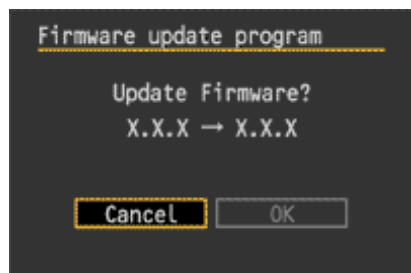
⑧ カメラで、手順(5)以降を行います。

(5) ファームウェアを変更します。

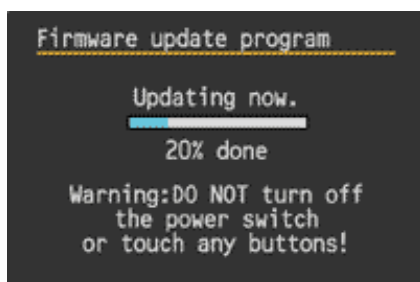
- ① カメラの液晶モニターに下の画面が表示されます。



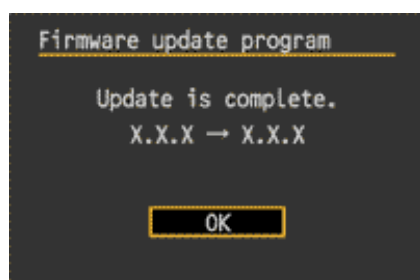
- ② <SET>ボタンを押すと確認画面になるので、変更するファームウェアの表示を確認したら、サブ電子ダイヤルを回して [OK] を選び、<SET> ボタンを押すと、ファームウェアの変更を開始します。



- ③ ファームウェア変更中は、液晶モニターに下の画面が表示されます。



- ④ 変更が終わると、液晶モニターに下の画面が表示されます。
- ⑤ <SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更を終了します。



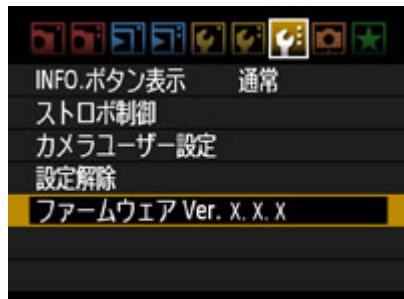
以上で、ファームウェアの変更作業は完了です。

ファームウェアのアップデート作業が完了しましたら、カメラの電源スイッチを<OFF>にし、必ず2秒以上電池を取り出してください。これにより、新しいファームウェアがカメラに反映されます。

ファームウェアの変更に使用したCFカードは、変更作業が完了したら初期化してください。

ファームウェアバージョンの確認

- ① カメラの電源を<ON>にし、<MENU>ボタンを押してメニュー項目を表示します。
- ② メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルを回すと“機能設定 3 （黄）”の最後に[ファームウェア Ver. x. x. x]があります。
- ③ そこに表示されている番号がカメラのファームウェアのバージョンです。



*撮影モードは、<P>モードなどの“応用撮影ゾーン”をお選びください。
“かんたん撮影ゾーン”では、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ファームウェア変更中にエラーが表示された場合

万が一、ファームウェア変更中に、エラー画面が表示された場合は、電池を抜いて、電池の容量やCFカードのファームウェア変更ファイルに問題が無いかご確認ください。問題なければ、再度変更操作を繰り返してください。それでも変更できない場合は、弊社「お客様相談センター」または「修理受付窓口」にご相談ください。

